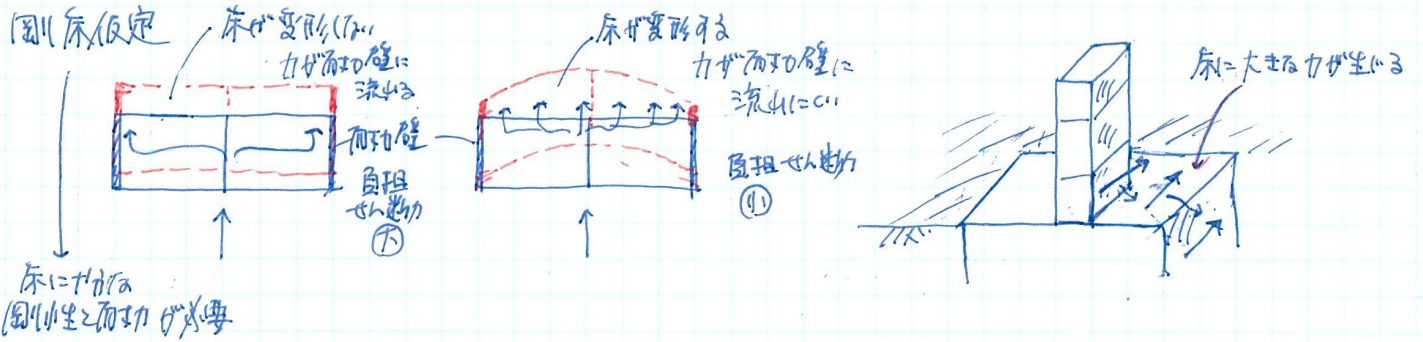
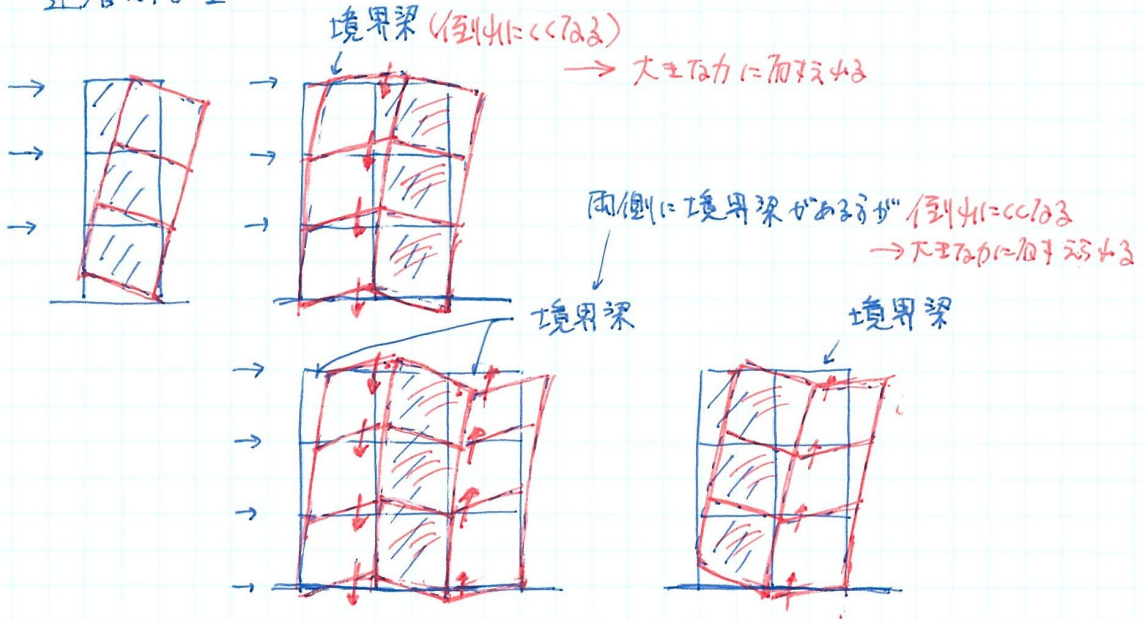
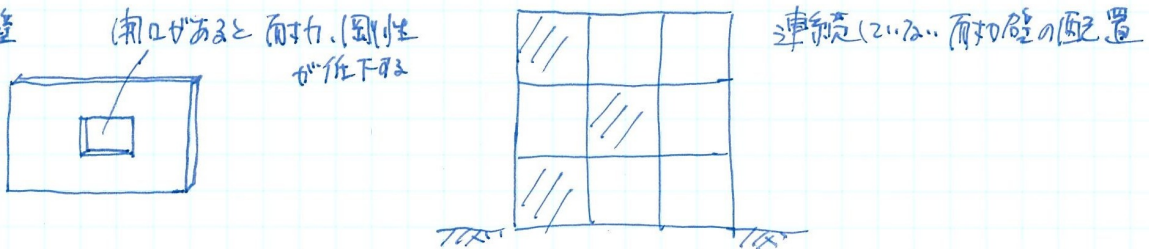


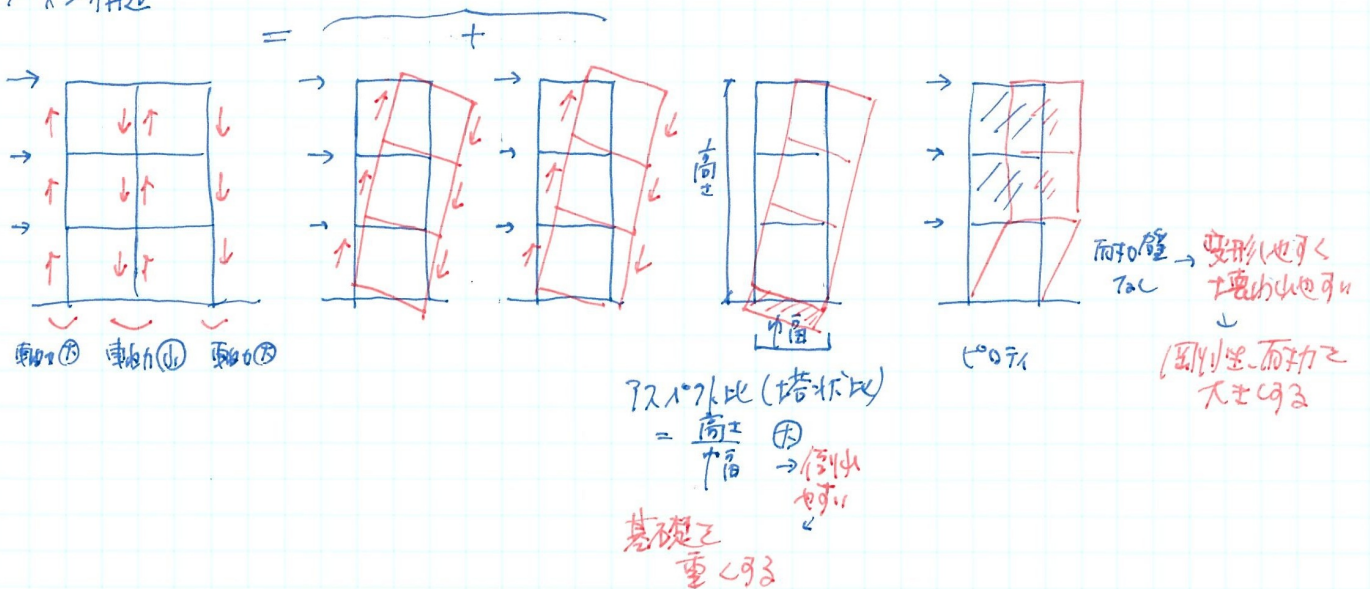
連層耐力壁

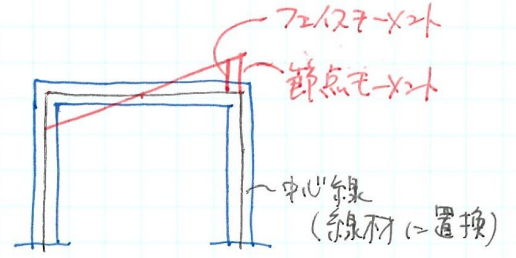
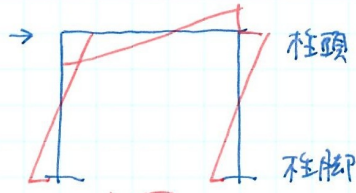
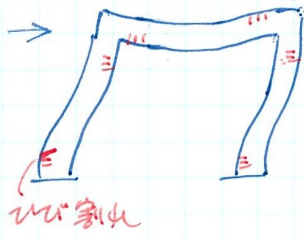


耐力壁

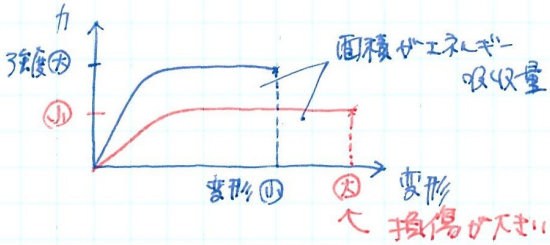
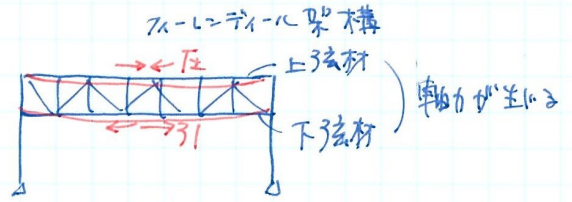
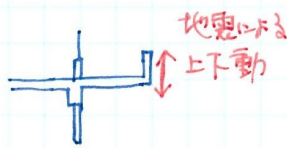
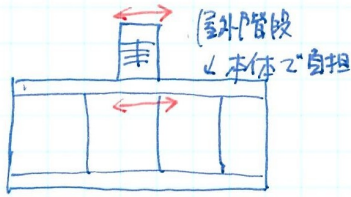
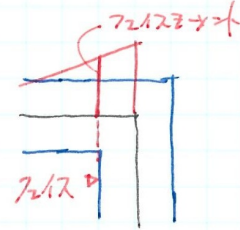


純ラ-X-構造





3(3)は使用材料はモルタルでなく  
 丁型鉄筋は引張りに弱く  
 びり割れが発生



1C-1

令36条の2 ← 法20条1項2号の政令で定める建築物  
1項5号

↓

告示593号

ニに掲げる建築物以外は 法20条1項2号 になる

は、規模に応じて... 3号、14号になる

↓

1C-1

令81条3項の構造計算

RC造

告示593号 2号

柱-壁の必要な断面積が定められている

必要な断面積 ≤ 各部材の断面積 × α (コンクリート強度による割増)

1C-2

令81条2項2号 ← 法20条1項2号

(許容応力度計算)

令82条の6 1項3号 の基準に適合

↓

告示1791号 第3ロ

1C-2

生じるせん断力に割増(2.せん断破壊(7.1.5)になる)

1C-3

令82条の3 (保有水平耐力計算)

DSの算定

部材の靱性に基き算定

靱性高 → 低い

FA, FB, FC, FD

せん断破壊は靱性低い

FD ←